

持続可能性に関する確認について

組織委員会では、物品やサービスを供給するサプライヤーの選定に当たり、持続可能性に関する確認を行います。入札参加希望者等におかれましては、以下の対応をお願いします。

1. チェックリストの提出について

- (1) 調達コードの遵守が困難な事業者をサプライヤーに選定するリスクを低減する観点から、組織委員会は、入札参加希望者等が持続可能性に関してどのように取り組んでいるのか確認します。組織委員会の調達案件への参加を希望する事業者は、別添「持続可能性の確保に向けた取組状況について」（以下、「チェックリスト」という。）の記載・提出をお願いします。

なお、このチェックリストは組織委員会がリスク管理のツールとして活用するためだけのものではなく、事業者にとっても、チェックリストの記載を通じて調達コードに関する理解を深めると同時に、自らの持続可能性に関する取組状況を振り返り、より高い水準への改善に活用することができるものです。

- (2) チェックリストの作成に当たっては、以下の留意点のほか、別添「記載例」及び「調達コード解説」を参照してください。

(作成上の留意点)

- ・チェックリストは調達コードの項目に沿ったものとなっています。原則として、全ての項目について、チェックボックスへのチェックと「具体的な取組内容」欄の記載をお願いします。
- ・記入に当たっては、現時点で取り組んでいる内容のほか、現時点で取組のない事項でも、今後予定している取組があれば記入してください。
- ・チェックリストに記載する取組については、様々な内容があり得るものであり、特定の内容・水準の取組を強制するものではありません。
- ・チェックボックスの「取り組む予定はない」にチェックをする場合は、「具体的な取組内容」欄に、その理由を記載してください。なお、事業の性質上該当しない場合もこれに含まれます。
- ・取組状況を CSR 報告書などで公表している場合は、その掲載場所（URL 等）を記載してください。
- ・物品調達においては、「納入予定物品の製造施設について」欄を記載してください。

- (3) チェックリストは入札参加表明書等と併せて提出していただきます。提出の詳細な時期・方法については入札説明書等でご確認ください。
- (4) 組織委員会は、提出されたチェックリストに基づき、入札参加希望者等の持続可能性に対する取組状況を把握し、調達案件の内容も踏まえて、調達コードの遵守に大きな問題を生じ得るリスクがないか確認します（現時点で取組のない項目があったとしても、今後どの

ように取り組む予定か、あるいは取り組む予定がない場合はその理由を含めて判断します)。チェックリストの確認に際して、追加情報の依頼や内容確認の連絡を取る場合があります。

- (5) 開札や見積合わせの結果、落札候補者となった者については、契約締結前にヒアリング等による詳細な確認を実施する場合があります。
- (6) 上記(4)及び(5)の確認の結果、調達コードの遵守が極めて困難と判断した場合は、契約を締結しない場合があります。なお、契約を締結したことをもって、サプライヤーとなった事業者において調達コードの不遵守が起きないことを保証するものではありません。
- (7) 契約締結後もチェックリストの内容について確認する場合があります。
- (8) チェックリストの公開あるいは第三者への提供等はいりません。

2. 誓約書の提出について

組織委員会との調達契約の締結に当たっては、調達コードを理解し、その遵守に向けて適切に取り組んでいただけることを確認するため、誓約書を提出していただきます。落札者となった際には、別添「誓約書」に記名押印し、組織委員会の調達担当者へ速やかに提出してください。

3. 問い合わせ先

東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会
総務局 持続可能性部 持続可能性事業課
電話 : 03-6631-1957
E-mail : sustainability@tokyo2020.jp